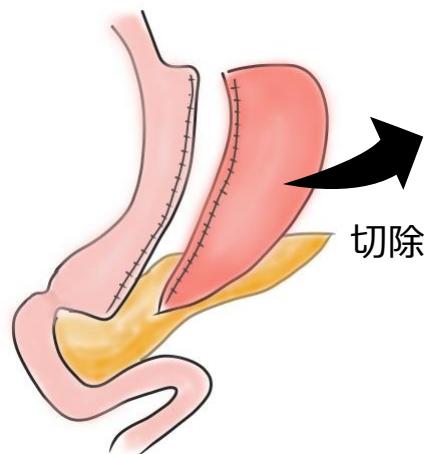


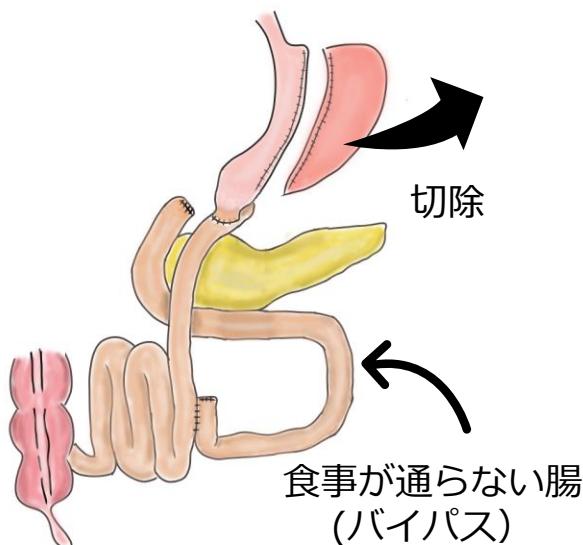
当院では肥満症に対する手術を選ぶことができます

スリーブ

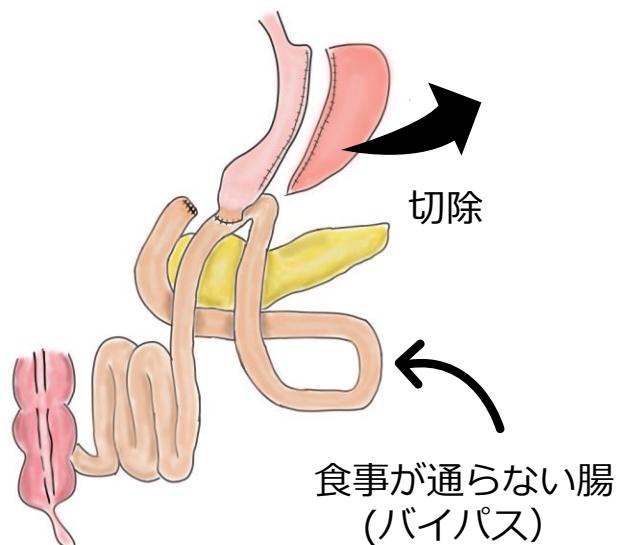


- 世界で1番行われている手術
- 約80%の胃を切除
- 摂食制限がメインで、吸収抑制は高くない
- シンプルな手術の割に減量・代謝改善効果は高い
- 術後の逆流性食道炎（新規、悪化）の可能性
- 保険診療

スリーブバイパス（ルーウィ）



スリーブバイパス（ループ）

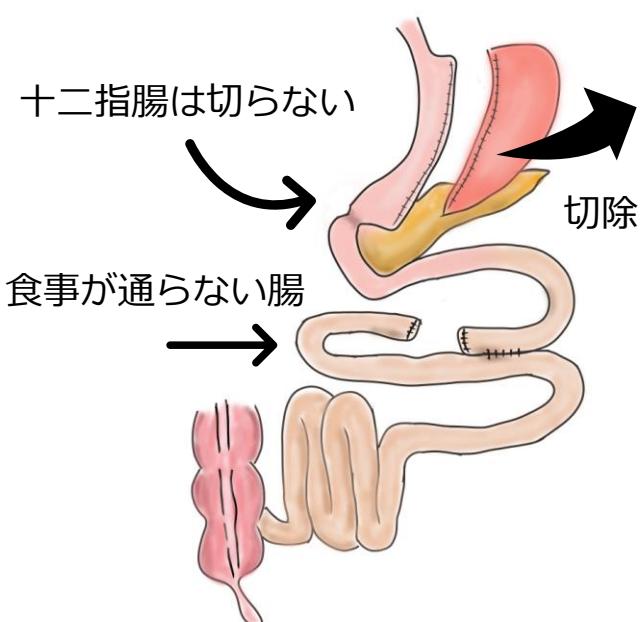


- 世界ではあまり行われることはないが、日本で笠間医師により考案され2007年から行われている術式で歴史がある
- そのため日本人に対する長期の治療効果も実証
- 摂食制限のみならず、吸収抑制からも減量が期待
- 減量・代謝改善効果はスリーブよりも高い
- 特に糖尿病の改善効果が高い術式の一つ
- 最近では安全性を考慮し、吻合箇所が1カ所となるループを採用
- 術後の逆流性食道炎（新規、悪化）の可能性
- 保険診療

当院では新しいスリーブプラスの術式も提供します

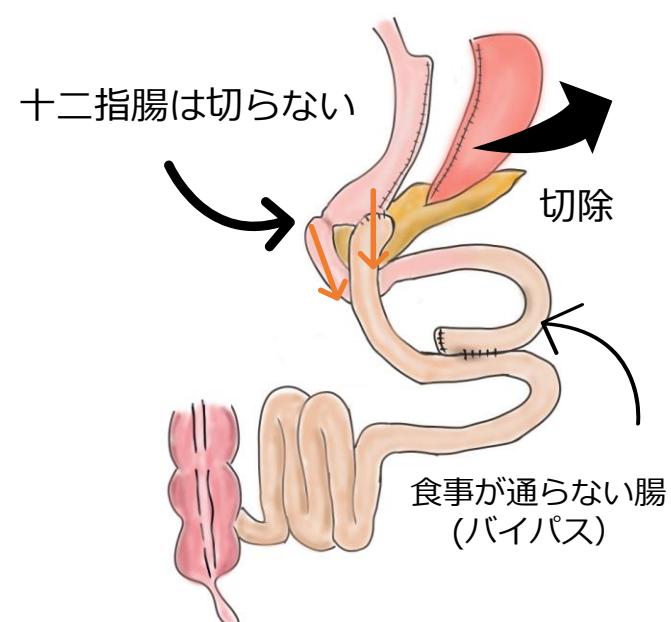
- 減量・代謝改善効果をより高めるために、上部空腸に食事を通さないように経路を変更する手術をバイパスと呼びます
- スリーブにバイパスをプラスする術式は（スリーブ プラス手術）、いくつかありますが、当院ではスリーブ PJBとスリーブ バイパーティッシュョンを行います
- いずれの手術もスリーブバイパスと異なり十二指腸を離断する必要がないため、**安全性がより高い**と言えます。術後も胃カメラで十二指腸の観察もできるため、将来胆道系の病気（胆石、膵がんなど）になった場合に内視鏡での観察や治療ができるのは大きなメリット

スリーブ PJB



- PJB(proximal-jejunal bypass)
- スリーブに加え、上部空腸に食事が通らないパートを作る
- 食欲を抑制し、満腹感を増強させる
- アジアでも注目されている術式
- 術後の逆流性食道炎（新規、悪化）の可能性
- 日本人の成績はこれから
- 保険診療

スリーブ バイパーティッシュョン

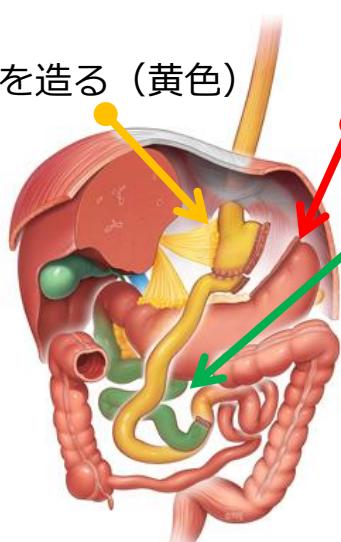


- スリーブに加え、Bipartition（バイパーティッシュョン）を行う
- バイパーティッシュョンとは、2経路の食べ物の通り道があるという意味（本来の十二指腸側へと、胃空腸吻合部へ食事は流れる→）
- 摂食制限と吸収抑制で効果を発揮
- ルーウィ法で胃と空腸をつなぐ方式（胃内への胆汁逆流を避けるため）
- 術後の逆流性食道炎（新規、悪化）の可能性
- 日本人の成績はこれから
- 保険診療

自費診療による手術 (2024年11月現在検討中)

ルーワイ胃バイパス(Roux-en-Y胃バイパス術)

小さな胃を造る（黄色）



残る胃

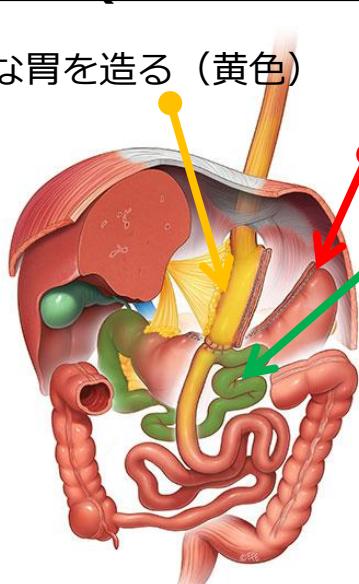
上部空腸に食事を通さないパートを作る（緑色）

- 世界で2番目に行われている手術
- 長い歴史がありエビデンスは十分
- 食事制限と吸収抑制
- 減量・糖尿病改善効果はスリープよりも高い

- 逆流性食道炎を伴う高度肥満患者に適している（減量と同時に、逆流性食道炎の治療にもなり、また新規の逆流性食道炎も少ない）
- リバーシブル（元に戻せる）
- **胃カメラで残る胃の観察が困難になる**（胃癌のリスクがあれば適応なし）。また十二指腸の観察もできないため、将来胆道系の病気（胆石、膵がんなど）になった場合に内視鏡での観察や治療が困難
- 自費診療検討中（2024年11月現在）

OAGB (One Anastomosis Gastric Bypass)

小さな胃を造る（黄色）



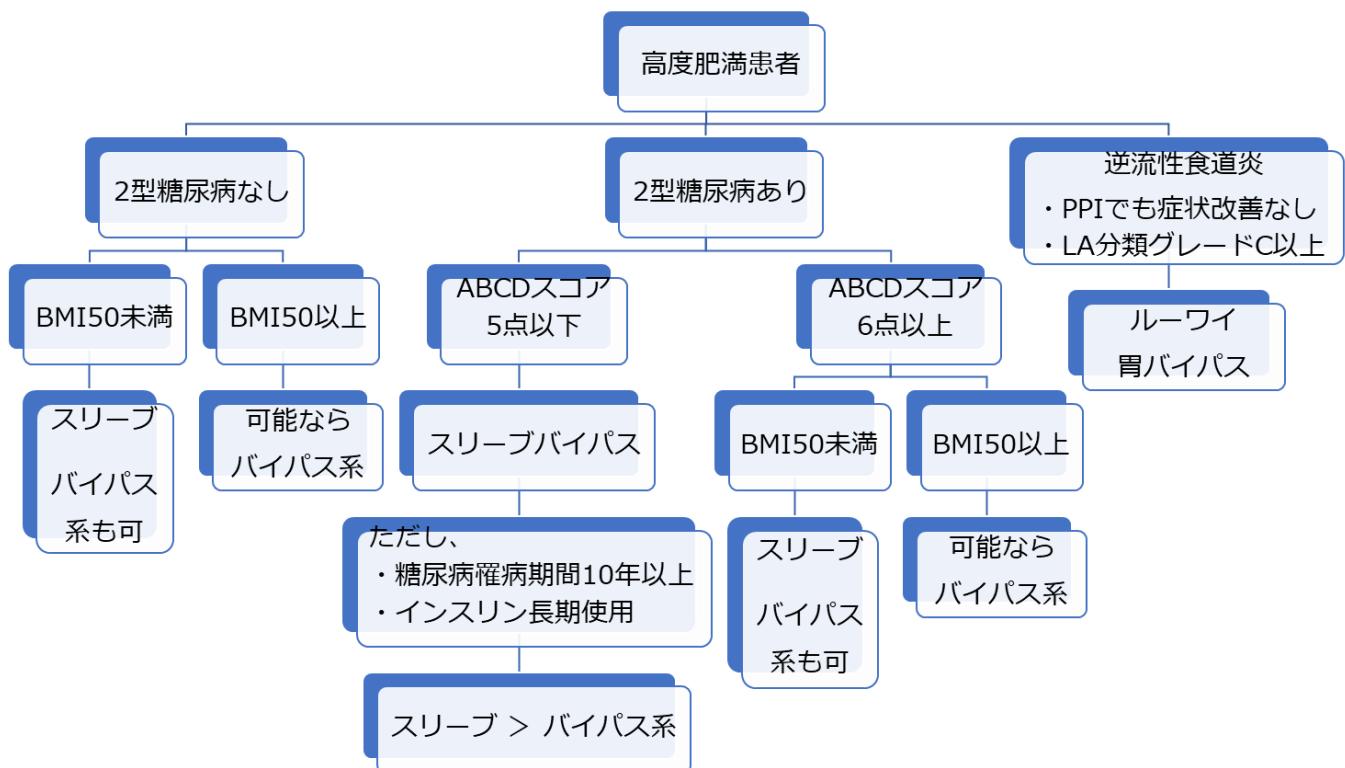
残る胃

上部空腸に食事を通さないパートを作る（緑色）

- 世界で3番目に行われている手術
- 長い歴史がありエビデンスも十分
- コンセプトはルーワイ胃バイパス
- 治療効果やデメリットも似る

- リバーシブル（元に戻せる）
- バイパス系手術の一つ。吻合箇所が1カ所のため、ルーワイ胃バイパスよりも手術が容易
- **胆汁逆流の可能性**がある（胃炎。ピロリ菌保菌者には不向き）
- 自費診療検討中（2024年11月現在）

術式を選ぶ際の参考



- BMIは身長・体重からネット上で簡単に計算できます
- ABCDスコアは担当医にお尋ねください（年齢、BMI、血清Cペプチドの値、糖尿病罹病期間から算出可）
- バイパス系手術とは、スリーブバイパス、スリーブPJB、スリーブバイパertection、ルーワイ胃バイパス、OAGBが該当します
- どの手術も腹腔鏡手術で行います
- 逆流性食道炎の程度は胃カメラ検査で分かります
- 最終的には外科担当医との相談の上、術式が決定されます
- より良い手術が選べるように相談しましょう
- 詳しくは外科担当医の大城、宇野にお尋ねください

ABCDスコア

Variable	Point on ABCD index			
	0	1	2	3
Age (yr)	≥40	<40		
BMI (kg/m ²)	<27.0	27.0–34.9	35.0–41.9	≥42.0
C-peptide (mg/L)	<2.0	2.0–2.9	3.0–4.9	≥5.0
Duration of diabetes (yr)	>8	4–8	1–3.9	<1

各点数の合計がABCDスコア